

フィールド風

(現場)からの風

宮田守男

稲刈りが終わった田んぼの落穂目当てか、これまで見た事が無いほどの雀らしい鳥の大集団が乱舞。また道路には、多くのカラス。

クルミを道路に置き、通行車両で潰させて中身を上手に食べている。また今年にはドングリなどが不作との情報や、里の栗も不作だとの声が聞こえてくる。全国からは、熊による人身被害も伝えられている。野生動物との共存が難しい状況の中、近年の新ストロブのブームにより、多くの広葉樹の伐採も見受けられる。自然の中に、野生動物のエサとなる木々の植栽に関心が高まる事に今後も注目して行きたい。

候補者の多くの話題が伝わってくる。アメリカ合衆国の大統領は、世界全体に大きな影響力を持ち、国境を超える問題に対する取り組みに大きな影響力を持つから。日本でも注目されるのは、国の

伝えられる情報内容を考察する事が大切だ

リーダーを直接選べる魅力なのだろう。だが近年の選挙戦は、日本でも言えることだが政治のメディア化により、政策論争は遠のき、実質を伴わない表面上だけの言葉や、巧みな表現を駆使するレトリックでの連呼や相手をやり込めるテクニックばかりが発達。内容は、あまり意味のある討論とは思われないと強く感じてしまう。学生時代に民主主義は、組織の重要な意思決定を構成員が最終的な決

う。17日、昨年より5日早く白馬三山が初冠雪。わが家の暖房機も初出動だ。山腹の紅葉も見頃だが、舞い散る落ち葉が気になる季節でもある。長く読み継がれている絵本「葉っぱのフレディ」の木の生まれたフレディたちの葉っぱの物語。楽しい春と夏は駆け足で過ぎ去り、秋には、みんなの色が美しく変わる。しかし、心地よかった風が冷たく吹きつけ、仲間が一枚ずつ散って行く。死におびえるフレディに「変化するって自然な事」変



シュウメイギク(別名・秋牡丹)の白色品種が、花の少ない晩秋を彩っている

わる事も一つ」と語る親友。なぜか新型コロナウイルスの影響での対応で苦慮する、観光業も同じなのかと思いを重ねてしまう。現状に对应できる知恵と行動力に大いに期待したいものだ。(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)